日本遺族通信
令和元年11月15日
第827号

一般財団法人日本遺族会
〒102-0074東京都千代田区
九段南一丁目六番一七号
千代田会館三階
電話　03－3261－5521
振替　00160-6-25389
編集発行人　盛川英治
毎月1回15日発行
定価　1部130円（税込）

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

靖国神社
創立150年記念大祭
秋の例大祭にあわせて斎行

東京・靖国神社では、今年で御創立百五十年を迎え、十月十七日から二十日までの四日間にわたり秋季例大祭並びに御創立百五十年記念大祭が斎行された。十八日の秋季例大祭には、天皇陛下から勅使が差し遣わされ御幣帛が奉納され、十九、二十日の両日には記念大祭「第一日ノ儀」、「第二日ノ儀」が執り行われた。

御創立百五十年記念大祭では、山口宮司が創立百五十年を寿ぐとともに、我が国が平安であることを祈念する旨の祝詞を奏上した。十九日の第一日ノ儀には水落会長他約六百五十人が参列し、二十日の第二日ノ儀には約千四百人が参列した。

また、大祭に合わせ、安倍晋三内閣総理大臣、大島理森衆議院議長、山東昭子参議院議長、加藤勝信厚生労働大臣が「大真榊」を奉納した。安倍総理は平成二十五年の春季例大祭から毎年、春秋の例大祭に大真榊を奉納している。

本会関係者 栄えある受賞
秋の叙勲

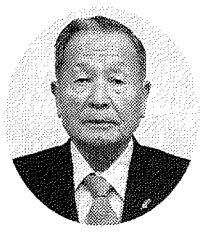
政府は令和元年秋の叙勲及び褒章受章者を発表した。栄誉に輝いた本会関係者は次の方々である。

▼旭日大綬章
谷垣禎一氏（74歳）
京都府遺族会元会長

谷垣禎一氏

▼旭日小綬章
柴田義継氏（83歳）
元本会理事、愛知県遺族連合会会長

▼旭日双光章
宇田川欽雄氏（77歳）
本会副会長、東京都遺族連合会会長
岩男立男氏（85歳）
本会評議員、大分県遺族会連合会会長
▼旭日単光章
小林茂隆氏（87歳）
元本会評議員、石川県遺族連合会副理事長


柴田義継氏

本殿に参進する神官＝10月18日、靖国神社で

新たに7柱を合祀

靖国神社秋季例大祭は十月十七日の「清祓」で始まり、午後七時から霊璽奉安祭が斎行され、新たに七柱を合祀した。翌十八日には「当日祭」が斎行され、全国から戦没者遺族をはじめ崇敬者、各界の代表など約五百人が参列して厳粛に執り行われた。

十八日午前十時、山口建史宮司以下の神職が本殿に進み、國學院大學吹奏楽部が「山の幸」を演奏するなか、神饌を献じた。

山口宮司が祝詞を奏上した。

十時三十分には、天皇陛下より遣わされた勅使・十時和孝掌典が参進して昇殿。神前に天皇陛下よりの御幣帛を奉って御祭文を奏上し、玉串を奉奠して拝礼した。

勅使退下後には、國學院大學フォイエルコール混声合唱団が「鎮魂頌」「靖国神社の歌」を奉唱。山口宮司に続き、水落敏栄本会会長はじめ、英霊にこたえる会、神社本庁、靖国神社崇敬奉賛会の代表など特別参列者が本殿に進み玉串拝礼を行った。

御創立百五十年記念大祭では、山口宮司が創立百五十年を寿ぐとともに、我が国が平安であることを祈念する旨の祝詞を奏上した。十九日の第一日ノ儀には水落会長他約六百五十人が参列し、二十日の第二日ノ儀には約千四百人が参列した。

また、大祭に合わせ、安倍晋三内閣総理大臣、大島理森衆議院議長、山東昭子参議院議長、加藤勝信厚生労働大臣が「大真榊」を奉納した。安倍総理は平成二十五年の春季例大祭から毎年、春秋の例大祭に大真榊を奉納している。

本会関係者 栄えある受賞
秋の叙勲

政府は令和元年秋の叙勲及び褒章受章者を発表した。栄誉に輝いた本会関係者は次の方々である。

▼旭日大綬章
谷垣禎一氏（74歳）
京都府遺族会元会長

谷垣禎一氏

▼旭日小綬章
柴田義継氏（83歳）
元本会理事、愛知県遺族連合会会長

▼旭日双光章
宇田川欽雄氏（77歳）
本会副会長、東京都遺族連合会会長
岩男立男氏（85歳）
本会評議員、大分県遺族会連合会会長
▼旭日単光章
小林茂隆氏（87歳）
元本会評議員、石川県遺族連合会副理事長

柴田義継氏

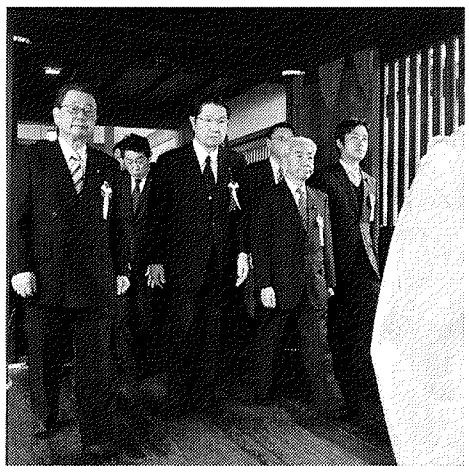
みんなで参拝
国会議員165人が参拝
靖国神社秋季例大祭に

超党派の国会議員でつくる「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」（会長・尾辻秀久参議院議員）は、十月十八日午前八時、靖国神社に昇殿参拝した。

水落敏栄本会会長（参議院議員）をはじめ加藤寛治農林水産副大臣、大臣政務官五人、自民党、国民民主党、日本維新の会、NHKから国民を守る党、無所属の衆参国会議員百六十五人（本人九十八人）が揃って靖国神社に昇殿参拝した。

参拝後、記者会見に臨んだ尾辻会長は、安倍晋三首相が参拝を見送っていることについて「台風被害の復旧に政府をあげて取り組んでいる最中であり、優先してちゃんとやれというのがご英霊のお気持ちだと思う」と述べた。

また、衛藤晟一沖縄北方・一億総活躍担当大臣が十月十七日に、高市早苗総務大臣が十月十八日にそれぞれ参拝された。閣僚の参拝は平成二十九年春の例大祭以来、二年半ぶりとなった。


尾辻会長（右から2人目）を先頭に本殿へと向かう「みんなで参拝する国会議員の会」＝10月18日、靖国神社で

令和元年10月
台風19号・21号、豪雨による東日本各地の被災者の皆様に謹んでお見舞い申し上げます
一般財団法人 日本遺族会

声なき声

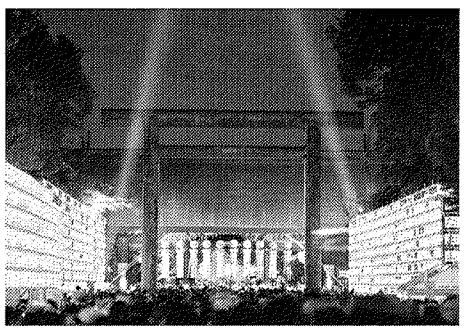
天皇陛下が即位を内外に宣明される「即位の礼」の中心儀式「即位礼正殿の儀」が10月22日、186の国や国際機関の代表者を含む約2000人が参列して皇居・宮殿「松の間」で行われた▼天皇陛下は高御座（たかみくら）と呼ばれる壇に昇られ、「上皇陛下が三十年以上にわたる御在位の間、常に国民の幸せと世界の平和を願われ、いかなる時も国民と苦楽を共にされながら、その御心を御自身のお姿でお示しになってきたことに、改めて深く思いを致し、ここに、国民の幸せと世界の平和を常に願い、国民に寄り添いながら、憲法にのっとり、日本国及び日本国民統合の象徴としてのつとめを果たします」と誓われた▼象徴天皇として、国民のために祈る姿は昭和天皇から上皇陛下へと引き継がれ、戦後生まれの今上陛下が間近でご覧になり、学んでこられたからこそのお言葉だと拝察する。感謝の気持になったのは、筆者だけではないだろう▼「世界の平和」は陛下が5月、即位後に国民の代表と初めて面会した「即位後親見の儀」や一般参賀のお言葉でも述べられている。平成に続き令和の時代も必ずや平和な時代とすべく、恒久平和を希求する遺族会を次世代に繋げる努力を怠ってはならない。（M）

令和二年版
靖國カレンダーを
家庭にかかげましょう

●申し込み方法
維持会費一口五〇〇円（送料別途）を添えて
①「英霊にこたえる会靖國カレンダー業務室」（〒一〇二―〇〇七三　東京都千代田区九段北三―一―一靖國神社遊就館内　電話〇三―三二六四―四六一〇・FAX〇三―三二六一―七四一五）。
http://eireinikotaerukai.com
のいずれか
②別途申込書で、お住まいの「英霊にこたえる会都道府県本部」宛。部数は、一部（一口）から取り扱っております。送料は、前記「都道府県本部」または、「靖國カレンダー業務室」に、お問い合わせ下さい。

●送付先
維持会費は、左記宛に送金願います。
郵便局　郵便振替
口座番号　〇〇一六〇―二―七〇四三一
口座名　英霊にこたえる会
靖國カレンダー業務室

英霊の御心を
次の世代に傳えましょう


7-8月　期間中約16万人の人出で賑わった平成30年靖國みたままつり（毎年7月13日～16日）